



**藻類30億年の自然史 第2版**  
藻類から見る生物進化・地球・環境

井上 勲著  
A5変型判 676頁 定価3990円

好評『藻類30億年の自然史』の改訂版。より藻類を詳述する。藻類という生き物がおよそ30億年という時を刻み、様々な多様性をとげてきたこと、そして地球と生命の進化に深く関わってきたことについて解説。藻類のハテナ？がわかる。

大阪市立自然史博物館叢書②

**標本の作り方**

自然を記録に残そう

大阪市立自然史博物館編著  
A5判 208頁 定価2625円

博物館の大型標本から家庭や学校で簡単に作成できる標本、標本の記録のつけ方などを写真とイラストでわかりやすく解説。



国立科学博物館叢書③  
**標本学—自然史標本の収集と管理**

国立科学博物館編  
B5判 260頁 定価2940円

本書では動植物をはじめ、菌類、化石、岩石、鉱物など自然史標本のほぼ全域の標本について、その収集方法、作製法、保存、管理、自然史標本のデータベース、標本利用の方法までを総合的に解説します。自然史を学ぶための必携書です。

国立科学博物館叢書④

**日本列島の自然史**

国立科学博物館編  
B5判 352頁 定価2940円

国立科学博物館・調査研究プロジェクト「日本列島の自然史科学的総合研究」、35年間の成果を基に国立科学博物館の地学、動物、植物、人類研究部の研究者らが、日本列島のナチュラルヒストリーに関するそれぞれのテーマをわかりやすく解説する。



大阪市立自然史博物館叢書③  
**干潟を考える 干潟を遊ぶ**

大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター編著  
A5判 182頁 定価2625円

干潟はどのようにできているのか、どんな生き物が暮らしているのか、干潟の楽しみ方、日本の干潟の現状を伝える。



国立科学博物館叢書⑧  
**南太平洋のシダ植物図鑑**

国立科学博物館編  
B5判 330頁 定価8610円  
南太平洋(フィジー、ニューカレドニア、バヌアツ、西サモアおよびソロモン、タヒチ、ボナベなど)の諸島でのシダ類の調査・観察をした記録であり、南太平洋に生育するシダ類が図解検索でわかるシダ類図鑑。



**東海大学出版会**

〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名3-10-35 Tel 0463-79-3941 Fax 0463-69-5087

蔵商品管理センター Tel 048-447-8570 Fax 048-447-8571 URL <http://www.press.tokai.ac.jp/>  
書店様に上記書籍が無い場合はホームページ上でもご購入いただけます。

# 海産微細藻類用培地

<特徴>

- ✓ 多彩な微細藻類に使用できる。
- ✓ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ✓ 安定した性能。
- ✓ 高い増殖。
- ✓ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK  
培地は、多種多様な微細藻類に使用可能な培地です。人工海水 SP は、海水の成分が自然に近い形で混合されており、精製水に溶かすだけで使用できます。

**ダイゴ IMK 培地**

100 L 用× 10	398-01333
1000 L 用× 1	392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。生育に必要な成分が含まれています。

**ダイゴ人工海水 SP**

1 L 用× 10	395-01343
-----------	-----------

海水 SP の成分が自然に近い形で混合されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

**製造** 日本製薬株式会社 ライフテック部  
大阪府泉佐野市住吉町2-6番  
〒598-8558 TEL 072-469-4622

**販売** 和光純薬工業株式会社  
大阪市中央区道修町三丁目1番2号  
〒541-0045 TEL 06-6203-3741  
東京都中央区日本橋四丁目5番13号  
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

URL <http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/>

HITACHI

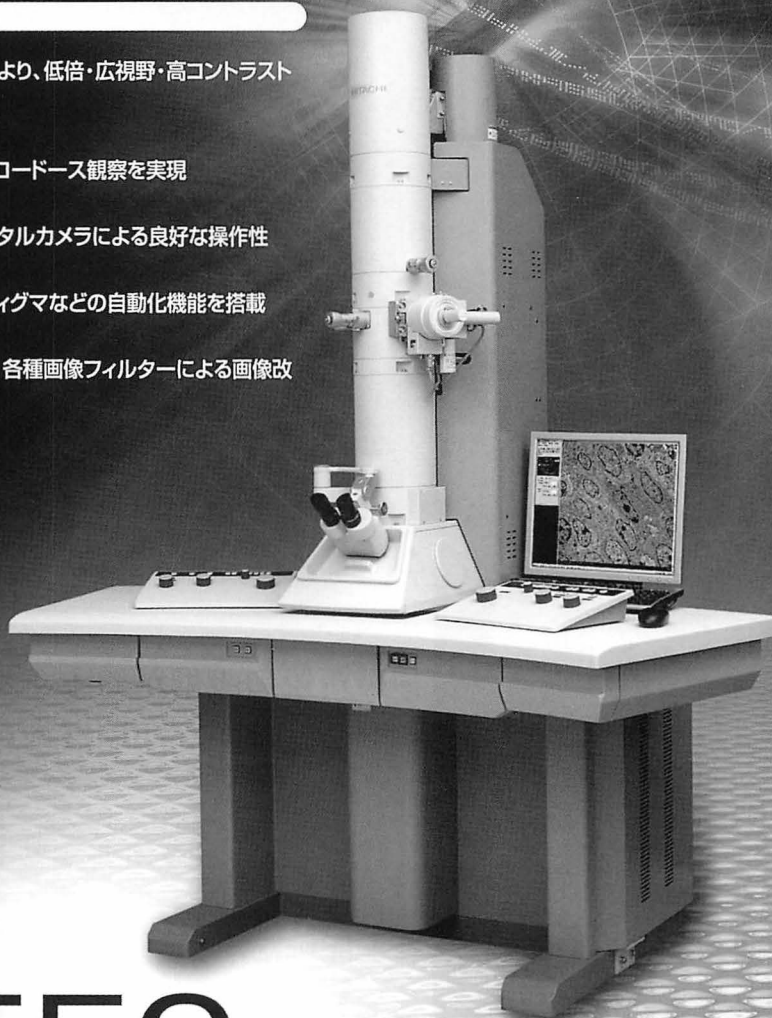
日立ハイテック

# 電子顕微鏡本体と高感度デジタル\*カメラの 一体化により、快適な操作環境を提供。

\*感度:対写真フィルム比・約40倍、対AMT社製HRカメラ比・約10倍

## 特長

- ① 日立独自の複合対物レンズにより、低倍・広視野・高コントラストな観察が可能
- ② 高感度デジタルカメラによるロードス観察を実現
- ③ 本体と一体化制御されたデジタルカメラによる良好な操作性
- ④ オートフォーカス・オートスティグマなどの自動化機能を搭載
- ⑤ データベース機能、測長機能、各種画像フィルターによる画像改善などの豊富な機能を搭載



日立電子顕微鏡

# H-7650

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン(03)3504-6111  
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。  
URL <http://www.hitachi-hitec.com/em/>

北海道(札幌) (011) 707-3200 東北(仙台) (022) 264-2218 筑波(土浦) (029) 825-4811 中部(名古屋) (052) 219-1670 関西(大阪) (06) 4807-2552  
四国(高松) (087) 825-9977 中国(広島) (082) 221-4514 九州(福岡) (092) 721-3517 沖縄 (098) 863-8295

## 事業所のご案内



### ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速で  
きめ細かいサービスを提供する営業  
センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-11-20  
Tel.029-851-2515 Fax.029-852-8501  
ss@isebu.co.jp  
営業時間:9:00~17:30



### ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・  
編集から印刷・製本までの一貫生産を行う  
印刷工場

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚389  
Tel.029-856-4166 Fax.029-856-4147  
ps@isebu.co.jp  
営業時間:9:00~17:30



### ISEBU Digital Station

「必要なときに必要な部数だけ」印刷する  
オンデマンド印刷をはじめ、Web制作、  
CD-R、電子出版など、マルチメディア  
対応型のアンテナショップ

〒305-0003 茨城県つくば市桜2丁目53-3  
Tel.029-850-6200 Fax.029-850-6601  
ds@isebu.co.jp  
営業時間:10:00~19:00

 **ISEBU**  
株式会社 **イセブ**  
www.isebu.co.jp/

# Digital

デジタル・コミュニケーション・ワークフロー



私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする  
地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様  
一人ひとりに最適な印刷ソリューションのご提案を  
めざしています。高品位な学術書・論文集等にすべ  
た編集ワークとクリエイティブなビジュアル提案が  
可能なデザインワークを特長とする制作部門に、  
フルデジタル化によるワークフローを構築。完成し  
たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに  
刷版出力することで、印刷・製本工程とあわせて迅速  
な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ  
かつ低価格でご提供しています。

多様化する印刷・出版ニーズに  
優れた瞬発力でお応えします



## 最新鋭の設備が約束する 確かな印刷技術革新

プリプレス&プレス・ワークフロー

私たちイセブでは、最新鋭の印刷設備をライ  
ナップし、幅広い商品ニーズに高品質・短納期・  
低コストでお応えしています。二〇〇三年には  
ハイデルベルグ社製のスピードマスターを導入。  
最先端のデジタル制御技術と卓越したオペレータ  
による厳しいチェック体制が、つねにハイグレイ  
ドな印刷品質をお約束します。また、個人ユーザー  
による自分史や詩歌集、学術論文など、モノクロを  
主体とする小ロットの印刷媒体には、デジタル  
データから直接印刷するオンデマンド印刷や紙版  
CTPでフレキシブルに対応しています。



# Products

▶ 海藻を食べ尽くし、各地で磯焼けを起こしているウニ。藻場回復への取り組みや対策、ウニの生態・漁獲・利用法を解説。

**磯焼け対策シリーズ 2** ◀ 藤田大介・町口裕二・桑原久実 編著 A5判 312頁 定価4620円(¥390)

# 磯焼けを起こすウニ 一生態・利用から藻場回復まで

第1章 ウニという植食動物/第2章 国内のウニ焼けの現状/第3章 各地のウニ焼け/第4章 ウニの行動・摂餌生態と食害対策/第5章 ウニの除去と新たな試み/第6章 ウニの漁獲から流通まで/第7章 獲ったウニを肥育する/第8章 ウニを利用する/第9章 これから何を考えるべきか



▶ 水産庁緊急磯焼け対策モデル事業の成果をもとに、磯焼けの一因ともなっている植食性魚類の生態、漁獲、利用、藻場の保護法などを解説。

**磯焼け対策シリーズ 1** ◀ 藤田大介・野田幹雄・桑原久実 編著 A5判 288頁 定価3990円(¥390)

# 海藻を食べる魚たち 一生態から利用まで

第1章 植食性魚類とは/第2章 2005年の全国アンケート調査から/第3章 魚による各地の藻場衰退の現状/第4章 植食性魚類の生態を探る/第5章 植食性魚類を獲る/第6章 植食性魚類を食べる/第7章 魚の磯焼けは回復するか/



▶ 海藻のネバネバ成分のひとつであるフコイダンの理化学的性状と様々な薬理効果等を解説する。

# 海藻フコイダンの科学 山田信夫 著

A5判 196頁 定価3150円(¥390)



- |                                     |                       |                    |
|-------------------------------------|-----------------------|--------------------|
| <b>1編 海藻フコイダンとは</b>                 | <b>2編 フコイダンの薬理効果</b>  | <b>5章 抗アレルギー作用</b> |
| 1章 古典などにみる海藻の薬理効果                   | 1章 抗血液凝固作用            | 6章 不定愁訴治療効果        |
| 2章 海藻の炭水化合物と多糖類                     | 2章 抗がん作用              | 7章 ビロリ菌定着阻害作用      |
| 3章 フコイダンの理化学的性状                     | 3章 コレスステロールならびに血圧低下作用 | 8章 フコイタンと化粧品       |
| 4章 フコイダンに働く細菌と酵素ならびに酵素の働きを阻害するフコイダン | 4章 抗ウイルス作用            | 9章 フコイダンの安全性       |

▼ 21世紀は藻類の時代、海藻研究の大いなる可能性を紹介！

**シリーズ応用藻類学の発展**

東京海洋大学教授 能登谷正浩 編著/A5判 164頁 定価2730円(¥390)

第1章 プロテオーム解析の現状とアミノ酸/第2章 コンプの育種研究と分子情報/第3章 ノコギリモクの生態学的研究と藻場造成技術への展開/第4章 アオサ類の分子情報による集団生態学解析と応用/第5章 アルギン酸工業の現状と研究課題/第6章 海藻発酵素材の開発と新産業創出/第7章 海藻を利用した化学物質の毒性評価

▼ 古来からの海藻食文化を見直すことから、新しい利用法の発見がある！

**ベルソープラックス04**

**海藻の食文化** ノートルダム清心女子大学教授 今田節子 著 四六判 204頁 定価1680円(¥340)

1章 海藻とは何か/海藻の食文化を理解するために/2章 食用海藻の種類と移り変わり/3章 伝統的・近代的な海藻の食文化/4章 コンプ/ワカメ/ヒジキ/モク/海藻類の歴史と伝統料理/5章 ノリの進化を考へる/5章 ノリの栽培技術とバイオテクノロジー/6章 アオサ/7章 アオサの緑藻類の歴史と伝統料理/8章 ノリ/9章 ノリの栽培技術とノリの生物学/7章 沿岸環境とノリの生育/8章 海藻は健康にいい!その効用と栄養

▼ 海苔に関する基礎事項から栽培・バイテクまで、人間との深い関わり！

**ベルソープラックス02**

**海苔という生き物** 東京海洋大学教授 能登谷正浩 著 四六判 192頁 定価1680円(¥340)

1章 ノリの名前と生える場所/2章 ノリの形と種類/3章 ノリの一生と繁殖/4章 ノリの進化を考へる/5章 海苔の栽培技術とバイオテクノロジー/6章 海苔の栽培技術とノリの生物学/7章 沿岸環境とノリの生育

▼ 漁業再生への第一歩、環境に適した造成技術を提唱！

**藻場の海藻と造成技術** 東京海洋大学教授 能登谷正浩 編著/A5判 288頁 定価4200円(¥390)

第1章 海藻の有効成分/第2章 海苔/第3章 若布/第4章 昆布/第5章 ひじき/第6章 もずく/第7章 寒天/第8章 海藻類に含まれている微量元素

▼ 海苔、若布、昆布など身近な海藻の生産から栄養・機能成分を紹介。最近話題となる成人病予防・美容効果なども取り上げ、必読！

**海藻の栄養学 健康の素** 大房 剛 著/四六判 168頁 定価1680円(¥340)

第1章 海藻の有効成分/第2章 海苔/第3章 若布/第4章 昆布/第5章 ひじき/第6章 もずく/第7章 寒天/第8章 海藻類に含まれている微量元素

成山堂書店 検索

\* 定価、発送費(〒)は消費税込み。

〒160-0012 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル  
TEL03(3357)5861・FAX03(3357)5867  
http://www.seizando.co.jp E-mail:order@seizando.co.jp

「水産図書案内」各内容見本  
無料送呈

新刊

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

# 淡水藻類

## 淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5 判上製・総頁 1444 頁・定価 52,500 円 (本体 50,000 円)

本書は淡水における藻類、約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約 800 属所収する。60 年に及ぶ著者の淡水藻類研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに／凡例／淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01 付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引／属名カナ読み索引／和文事項索引／欧文事項索引

# 小林 弘 珪藻図鑑

*H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy*

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価 35,700 円  
南雲 保・長田敬五

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容主目】凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名 - 和名対照表／引用文献／学名索引

# 淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA<sub>Ipo</sub>, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34,650 円  
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か＝きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA<sub>Ipo</sub>／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態 (種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目 (Centrales) の分類 II 羽状目 (Pennales) の分類 II A 無縦溝亜目 (Araphidineae) の分類 II A ディアトマ科 (Diatomaceae) II B 有縦溝亜目 (Raphidineae) の分類 II B<sub>1</sub> ユーノチア科 (Eunotiaceae) II B<sub>2</sub> アクナンテス科 (Achnantheaceae) II B<sub>3</sub> ナビクラ科 (Naviculaceae) II B<sub>4</sub> エピテミア科 (Epithemiaceae) II B<sub>4</sub> ニチア科 (Nitzschiaceae) II B<sub>5</sub> スリレラ科 (Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

表示の価格は税込定価 (本体価格 + 5%) です。

〒 112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3 内田老鶴園  
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

2008 年 7 月 5 日印刷

2008 年 7 月 10 日発行

© 2008 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-853-8975

Fax 029-853-8401

E-mail kitayama@kahaku.go.jp

禁 転 載  
不 許 複 製

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

Printed by Isebu Inc.

発 行 所

日本藻類学会

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

## 藻類



The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第56巻 第2号 2008年7月10日

## 目次

藻のグラフィックアート 日本のオゴノリ科(寄生藻属を除く)(解説:寺田竜太)

八谷光介・西垣友和・道家章生・和田洋藏 京都府沿岸におけるホンダワラ科海藻の炭素・窒素・リン含有量の季節変化 ..... 107

## 藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾: 27. 神奈川県横須賀市秋谷地先の砂泥底に設置された石積みマウンド ..... 116

## 藻類学最前線

神川龍馬: アピコンプレキサ類のアピコプラストと渦鞭毛藻類の色素体のミッシングリング—色を纏った寄生虫の親戚— ..... 119

大房 剛: 劉 思俊先生を偲んで ..... 122

新村 巖・田中敏博: 鹿児島県の有用藻類 III. 紅藻綱 ..... 123

平成 20 年度磯焼け対策全国協議会シンポジウム 講演要旨 ..... 129

## 博物館と藻類

北山太樹: 歩いてたどる生物系統分類展示「系統広場」—国立科学博物館の場合— ..... 139

## 民俗藻類学の旅

新山優子: 容器として利用された褐藻 *Nereocystis* ..... 142

## 日本藻類学会第 32 回大会開催記・参加記

第 32 回大会実行委員会: 大会を終えて ..... 143

坂本節子: 藻類学ワークショップ I 「分子系統解析の基礎と実践」に参加して ..... 146

大久保智司: 藻類学ワークショップ II 「海藻と付着性微細藻(珪藻・藍藻・渦鞭毛藻・ハプト藻・鞭毛虫)の分類と生態」に参加して ..... 147

寺田竜太・田中敏博・吉満 敏・島袋寛盛: 第 5 回亜熱帯性ホンダワラ属藻類の分類に関するワークショップ ..... 148

英文誌 (Phycological Research) 55 巻 4 号掲載論文和文要旨 ..... 150

## 書評・新刊紹介

編集部: かはくトランプ—系統広場の生き物たち— (国立科学博物館 編) ..... 152

会員のページ ..... 153

学会録事 ..... 155

学会・シンポジウム情報 ..... 159

会員異動 他 ..... 160

投稿案内・会則 他 ..... 163

コラム [藻の見遊山] 平賀大蔵: 特別展「海からの恵み 海藻—広がる未来への夢—」 ..... 145

[遊藻子] 足立 文: イミテーション海藻 ..... 141

[遊藻子] 編集部: 游藻 ..... 149

[遊藻子] 編集部: 藻類木彫りアート ..... 154